

8. 朝鮮

継続刊行図書 分売可 A5判・並製

韓国併合史研究資料

従来日本の朝鮮近代史研究は、韓国併合後から第二次世界大戦までの歴史に力が置かれがちであったが、本資料集では、特に為政者側の作成した文献・著書・論文を多く蒐め、1910（明治43）年以後の経済史・文化史にも注力し、広い視野で朝鮮の開国そのものに正面から迫るべく努めた。さらに、以降の展開状況を伝える史料も順次発掘し、紹介する。

第1期 (①～⑧) 全8巻・総9冊

揃本体価 65,000円
(95・11刊)

朝鮮新聞社 刊(昭和11年6月)

① 朝鮮統治の回顧と批判

ISBN 978-4-8447-5389-6
330頁

本体価6,000円

朝鮮「統治」から28年を経た昭和11年に刊行。90名もの当時の関係者による回想集。内容のほとんどは反省と自戒に欠けているものであるが、それ故に本書全体が日本近代史の闇の証明の意味を持ち、後世への資料として見逃せない。

朝鮮総督府 編(大正7年3月)

② 朝鮮ノ保護及併合

ISBN 978-4-8447-5390-2
450頁

本体価8,000円

朝鮮の「保護」より「併合」に至るまでのいわゆる真相を提示したとされる。内容はほう大な資料に基づいており、総督府の名の下に「極少数部数」印刷された。現在まで、本書の名前だけは知られていたが、全冊の復刻により、研究上の空白が癒されることは必至であろう。

統監府 編(明治43年9月)

韓国併合顛末書

佐伯有義 著(明治43年10月)

③ 韓国併合の旨趣

喜田貞吉 述(明治43年)

韓国の併合と国史
附・朝鮮沿革史略、明治日韓交渉史

明治37年以来の政府間の議定・覚書・協約などを「詔書・条約・法令」に基づいて説明したもの。記述は原本通りに載せられており、統監府設置から総監府設立前夜までの政体が窺われる。

日韓両国歴史的関係、韓国併合の理由(詔書)、朝鮮今後の経営、條約などを記述。

喜田貞吉の手による大作で、朝鮮半島古来の沿革、日韓の交渉顛末をも視野に入れて記述されている。

ISBN 978-4-8447-5391-9
総360頁

本体価7,000円

韓国内部警務局 編(隆熙4年3月)

④ 顧問警察小誌

ISBN 978-4-8447-5392-6
310頁

本体価6,000円

隆熙4年(明治43年)に韓国内部警務局より出された。「現時韓国警察ノ前身タル顧問警察ノ真性ヲ明ニシテ後來執務ノ考資ニ充テントスルニアリ」と謳われている。主要目次は、警察顧問ノ傭聘、地方警察ニ対スル改革、日韓協約ニ於ケル顧問警察ノ状況、宮廷消息結社団体、所謂義兵、新聞検閲、司法制度ノ状態、保安警察、監獄制度など。各種統計とともに今日の研究上の礎石となるものである。

朝鮮総督府 編(大正2年3月)

⑤

慣習調査報告書

統監府 編(明治41年1月)

韓国最近事情一覽

ISBN 978-4-8447-5393-3
総430頁

本体価8,000円

朝鮮に施行せんとする「民法」編纂のために広く調査した、民商事慣習の一覽。

韓国における「帝国経営及在留帝国臣民」の近況を調査。主な項目は、在韓日本人戸口表、居留民団表、日本人団体調、各地発展状況一覽、日本人教育及保育機関表、韓国産産地、韓国金融機関一覽表、通信・鉄道統計など。ほかに政府予算、官制、政務機関などが示されている。

根来可敏 編著(明治43年10月)

⑥ 朝鮮支那地名辞彙

ISBN 978-4-8447-5394-0
360頁

本体価8,000円

歴史家・吉田東伍序、地理学者・根来可敏の編著になる大作。地名は日常において必要な所を先ず記し、次いで小地名に及んでいる。呼称は、原名をとらず、所謂通俗の日本よみとしている。巻末の50音索引・画引索引より検索が可能。原本620頁。

青柳綱太郎 著(明治41年3月)

⑦

韓国殖民策 — 一名韓国殖民案内 —

朝鮮総督府 編(大正12年3月)

朝鮮の統治と基督教

ISBN 978-4-8447-5395-7
総220頁

本体価4,000円

ジャーナリスト青柳南冥(綱太郎)の手によって、従来の書物に飽き足らず植民の要素を究めることを目的とし、特に実地に事業展開している人々や農業民、漁民、移住者に調査を施して書かれたものとする。また、宗教、交通等にも稿を割いて明治末年迄の経済全般が鳥瞰できる構成となっている。〈付録〉として各種統計・法令の記述がある。

基督教の利弊または歴史的考証を行うものではなく、「基督教発達の経路を事実に基づいて」記述することを主眼としている。

吉田英三郎 著(明治44年12月)

⑧ 朝鮮誌 全2冊

ISBN 978-4-8447-5396-4
910頁

本体価18,000円

元総督府官吏、東洋拓殖会社社員、吉田英三郎の著作。6年間の調査旅行を経て、従来の地誌とは大きく異なり、「半島府郡誌」の総合的なものを目指す。目次には全ての分野が項目としてとられ、地理・歴史・風俗・慣習・社会・宗教・教育・食料から政治・経済等の全領域について記述す。また各道(府郡)の沿革・郡勢・地理・名勝・産物などを簡潔に記述する。

第2期 (9~18)

全8巻・総9冊

揃本体価 69,000円
(96・11刊)

青柳綱太郎 著(大正10年3月)

⑨ 朝鮮独立騷擾史論

ISBN 978-4-8447-6399-4
447頁

本体価8,000円

朝鮮の政治・治安・独立問題をとらえた青柳綱太郎の著作としてつとに有名。「併合」を正当化することは一貫しているが、1890~1900年代の政治状況の裏面に立入り、人物・心情にまで筆を進めている点で随一の書。運動家の論述、裁判の記録・傍聴記などを併載しているのも本書の資料性を裏づける。

朝鮮総督府 編(大正14年5月)

⑩ 朝鮮人の商業

ISBN 978-4-8447-6400-7
440頁

本体価8,000円

総督府嘱託・善生永助の筆になる。善生は地誌、民族、経済史の領域で多大なる業績を遺している。大正13年刊『朝鮮の市場』と対をなす。市場取引を中心とした古来からの生活様式の中で残された特別の商慣習や証書簿記などの産物(資料)が失われることを防ぐことをも目的としている。本書により、朝鮮特有の旧慣のほとんどが解明されたといつてよく、全7章(26節)にわたる叙述は出典資料の精緻さと合せて圧巻である。

青柳綱太郎 著(昭和3年3月)

⑪ 総督政治史論
全2冊ISBN 978-4-8447-6401-4
904頁

本体価17,000円

朝鮮研究会代表、南冥青柳綱太郎により著作・刊行。初代~4代総監(寺内一山梨)期20年間の占領政治を跡づける資料。前半の寺内正毅時代については、寺内の移民策謀、偏党処置、言論の徹底的弾圧、自治制度の廃止などに大幅に論稿を積み、事実解明の一助としている。また寺内が満州にまでその統治の手を伸ばした点も記述。全編を通じて総監時代の思想信条、人間的側面に筆の重点を置いている所が特徴。

原田豊次郎 著(明治42年12月)

⑫ 伊藤公と韓国

ISBN 978-4-8447-6402-1
159頁

本体価3,000円

明治42年10月に統監を3年余務めた伊藤博文が暗殺されたことを記念し執筆されたもの。伊藤の迫害政治は今日では立証されているものの、本書では、統治の困難性を示したその発言の重要性、生活改善の成功を謳うなど事実逆行する面が多々見られることは否めない。今日の歴史研究には見られない日本の優越意識・強圧的部分も明白にしている点で興味深い。

小田切萬寿之助 著(明治23年5月)

⑬ 朝鮮

ISBN 978-4-8447-6403-8
346頁

本体価6,000円

「朝鮮ハ亜細亜ノバルカン半島ナリ」との認識から、朝鮮半島の実情と将来を展望するべく著された。自序によると第1篇には朝鮮外交の実情、第2篇には朝鮮内部の現状が詳説されるとあるが、今日まで本篇(第1篇)以降は見つかっていない。目次は日本の関係、清国の関係、露国の関係、英米法独白諸国の関係、朝鮮半島の未来、朝鮮攻略。私家版ながら古今の文献を索捜し、大局的な見解が散見される。横浜正金

銀行にて対支借款事業に足跡を残した著者の精緻な研究成果といえる。

農商務省山林局 編(明治40年 8月)

14 韓 国 誌

ISBN 978-4-8447-6404-5
638頁

本体価12,000円

原著は露国(ロシア)大蔵省の手になる。「韓半島ニ於ケル建国沿革ノ大要風土民俗、制度ノ梗概、地方自治制ノ状態」などの他、産業、交通など、基本的かつ多岐にわたる内容をもつ大著。抄訳とはいわれるが、経済史、地誌、民俗を究める上での重要な参考文献。記述は極めて客観的であり、資料・データを駆使している。

朝鮮総督府 編(大正 4年10月)

15 朝鮮施政ノ方針及実績

ISBN 978-4-8447-6405-2
493頁

本体価10,000円

総督府「新政」実施 5年を期して開かれた朝鮮物産共進会に刺激され、なお総督府職員の仕事上の参考にするために編纂された。制度、生活、旧慣など国家形成のすべてにわたって叙述。資料は大正 4年半ばまでのものを使用しながら、冒頭の総説では、いかに併合が「合法的・融和的」に行われたかに表現上、腐心しているなど、史実の何たるかを思い起こさせる内容に満ちている。

農商工部 編(明治43年 4月)

16 韓 国 通 覧

ISBN 978-4-8447-6406-9
244頁

本体価5,000円

日本の侵攻によって「融合同化」することで所謂産業の発展に寄与した点を主題とする。共進会の開催を契機として朝鮮の産業・社会経済一斑を記録しておく必要に迫られた当事者が現況を報告したと書かれている。明治42年末までの最新データを基にしている。主な目次は、地理・農業・水産・拓殖事業・商工業・関税・物価・警察・地方行政・在留外国人・新聞雑誌など。

第 3 期 (17~25)

全 9 巻・総11冊

揃本体価 109,000円
(96・12 刊)

韓国研究会 編(明治35年 9月~同38年 7月)

17 韓国研究会談話録(第1~3号)

ISBN 978-4-8447-6455-7
総350頁

本体価6,000円

明治35~36年にかけて発行されたもの(韓国研究会刊・大江卓発行)で、韓国における「珍本」を見出し、翻刻し、韓国を真に研究することを目的としている。内容は、孝宗北伐の謀・度量孝(衡)・韓国通貨・朝鮮儒統伝・韓文学・薩滿教習俗など、政治経済に限らず、風俗・文化方面にも周到なる論稿を載せる。附録として若干の原典を掲出しているのも特長である。

朝鮮総督府 編(大正13年 7月)

朝鮮に於ける支那人

18

鳥越静岐、薄田斬雲 共著(明治42年 1月)

朝 鮮 漫 画

ISBN 978-4-8447-6456-4
総380頁

本体価7,500円

大正13年 7月に総督府より刊行された本書は、同時代に著しく増加した中国人の生活形態を实地調査により解明せんとしたものである。商業・農業・労働の各業種の内容・売上数字・生活費などをできるだけ克明に記している。記載は12の県(府)別となっている。

明治42年に日韓書房により刊行。鳥越静岐・薄田斬雲の共著。近代史の中で特に風俗に関する説明が絵(マンガ)によってなされたもの。50種以上のテーマをもとにして、ユニークな解説、一級の面白さを持った画風で、日常生活をわかり易く、強い風刺をもって我々に訴えかけている。

星野良吉 編(明治15年8月)

日韓紛議 **政 略 纂 論**

大内暢三 著(明治33年9月)

19 外交之危 **韓 国 問 題**

内田良平 編(大正9年11月)

極秘 **朝鮮統治問題に就て
先輩並に知友各位に訴ふ**

ISBN 978-4-8447-6457-1
総328頁

本体価6,000円

明治15年7月の京城における朝鮮兵反乱(壬午事変)に関し、日本の政策の「正当化」を目指す花房義賢らの施策を各種資料に基づき論ずる。(附)朝野新聞・自由新聞論説。

明治33年9月刊。(内容)江華島事変・十五年の変乱・天津條約・金玉均の殺害・露国の陰謀・日露協商・開港問題

大正9年刊。日韓国民の「和合同化」を図ることを目的として、内田独自の制度改革案を元に、政府を批判、明治6年以来の日朝関係を辿りながら、8項目の問題点を評論。(附)宋秉燮・張錫周論文

煙山専太郎 著(明治40年9月)

征 韓 論 実 相

20 惜 香 生 編(明治25年1月)

文祿征韓 水師始末 **朝鮮李舜臣伝**

ISBN 978-4-8447-6458-8
総410頁

本体価7,000円

明治政府の重要政策の一つであった征韓論問題を、幕末まで遡って論じている。維新初年の内政、外交、條約改正談判の努力、小笠原島問題、琉球問題、台湾問題、幕政時代における対韓関係、宗家と韓国との関係などを原資料に基づき、歴史家の厳しい眼を通して綴る。

陸軍大尉柴山尚則の友人であった惜香生から寄贈された李舜臣の伝記に、自身の見解を加えたもの。日本側の正当性を敢えて主張しながらも、李舜臣の実力とその背景も克明かつ、できるだけ公平に描いている。日本史の欠落部分を補うものといえる。

幣原 坦 著(明治40年6月)

韓 国 政 争 志

21 内部警務局 編(明治42年5月)

韓 国 警 察 統 計

ISBN 978-4-8447-6459-5
総320頁

本体価6,000円

複雑を極めるといわれる韓国の政治政争を論述し、その原因を見つけることによって国情の審査を有為にすることを目的としている。概論、東西分争論、老少分争論から成り、引用例を多くすることによって朝鮮半島の政治と歴史とに興味を持つ人々に読み易く説いている。

本書は主として隆熙2年度(明治41年)における「韓国警察統計」であり、統監府その他の統計書中、韓国警察に関係する部分はほとんど使われている。内容は職員配置・巡査家族数・巡査勤続年数年令・戸口・半島人口分布・著名市街地戸口・外国人国籍など49項目にわたって掲載される。

東邦協会 編(明治27年6月)

22 **朝 鮮 彙 報**

ISBN 978-4-8447-6460-1
364頁

本体価6,500円

世界列国が著しく流動し、文明の力によってその力関係も変ってきつづある時、「東方民族の尊榮を恢復し、興隆を」促す一助としての研究飼料の目的を持って刊行されたもの。朝鮮論、朝鮮西岸ノ水路、朝鮮探検の結果、朝鮮ノ現制并日本トノ関係、朝鮮紀行、外国貿易(附)漁業ノ景況、李昶の事、などからなり、人文科学的に見た朝鮮が細かく語られている。

高橋章之助 著(大正9年10月)

宗家と朝鮮

23

中村金城 編著(明治43年9月)

朝鮮風俗画譜(上・下) 〔巻頭カラー〕

ISBN 978-4-8447-6461-8

総300頁

本体価25,000円

高橋章之助の手になり、大正9年に出された。徳川以前の交際国である中国と朝鮮を、対馬(宗家)と朝鮮との交渉に重点を置き、貿易に留まらず、釜山開発の実際、戦国革命の推移等を金石文庫・総督府・韓国宮内府等の秘蔵資料を駆使して解明した労作である。内容は、地理及経済的關係・通交條約・和館設置経営・明治維新と宗家・宗家系譜、など。

中村金城の筆になる近代朝鮮の生活誌を画によって表わした貴重な作品。朝鮮に永く滞りし日常の観察を人物・風俗に置きそれを実写した。「一毫一糸に至っても架空想像によるものは無く」、それらは今日においても十分に美術および歴史資料として耐えられるものである。文官武官に始まって故山退政、乗轎に至る100点余の題材は正にユニークなものといえる。

朝鮮総督府 編(大正13年11月)

24 朝鮮の市場

ISBN 978-4-8447-6462-5

724頁

本体価15,000円

大正13年に総督府により出された。研究員・善生永助の筆による大著。それまで在った1300もの市場が、市場規則が公布されることにより、営業年限を満たし、その存廃が問題となり、同時に市場の監督、取締、経営などが難しい時期となった当時、その沿革・取引・主要市場・家畜など、およそ市場に関する内容をほとんど網羅的に調査したもので、今日においても十分通用する論述である。

統監官房文書課 編(明治40年、同42年、同43年)

25

統監府統計年報 (第1次・明治40年) (第2次・明治42年) (第3次・明治43年) 全3冊

ISBN 978-4-8447-6463-2

総1,350頁

本体価30,000円

本書は明治40年～43年に統監府官房より出されたもので、韓国における日本の官庁及在留日本人に関するデータ・状況を記載している。内容は土地・教育・警察・監獄・裁判・銀行・産業・貿易・通信・鉄道などの多岐に及ぶ。純粋な統計であると同時に、各所に適切なコメントが付しており、政治・経済・法律の有機的な動きが分かる貴重なもの。

第4期 (26～35) 全10巻・総11冊

揃本体価 103,000円
(01・3 刊)

相沢仁助 編(明治38年12月)

26 韓国二大港実勢

ISBN 978-4-8447-6511-0

478頁

本体価10,000円

天然良港として名高い釜山港の歴史、日韓修好条規(1876年)以降の開港による貿易上の発展から1905(明治38)年の日露戦争に至る歩みを詳述。さらに1883(明治16)年の開港から国際貿易港へと進んだ仁川港の鉄道との絡みも含んだ実情をそれぞれ居留問題、自治制、財政、商業、教育、気象をも視野に入れて述べた非常に資料性の高いものである。

京城居留民団役所 編(明治45年6月)

27 京城発達史

ISBN 978-4-8447-6512-7

500頁

本体価12,000円

明治13年、日本人が初めて京城に生活を始めた時点より同43年までの京城の有様を、「朝鮮開拓」「京城の発達」の観点から叙述した。執筆は青柳綱太郎に委嘱した。項目は居留地発展・経済発展・商業会議所・教育・衛生・宗教・教育など。

山田市太郎、安藤一枝 共著(大正2年12月)

28 北朝鮮誌
全2冊

ISBN 978-4-8447-6513-4

900頁

本体価21,000円

当時の“北満州”“北鮮間島”などロシア領に接する地域すなわち植民地化された流浪の民にとつての(最後の安住地)の自然・経済・通行・旅行案内などを詳述する。取り上げた地域は、咸鏡南道(北道)、間島、(露領)浦塩斯德など。

朝鮮総督府 編(大正3年1月)

29 朝鮮統治三年間成績

ISBN 978-4-8447-6514-1

160頁

本体価3,500円

1910(明治43)年の“統治”開始以来1913年迄に発布された総督諭告・訓示21編を記録したもので、司法・行政・経済政策(独立運動の弾圧、土地調査、教育令など)の重要な部分が見てとれる。

今村 鞆 著(大正4年10月)

30 朝鮮風俗集

ISBN 978-4-8447-6515-8

500頁

本体価12,000円

本書で注目したいのは、「朝鮮の特殊部落」(明治42年5月稿)として設けられた一章で、15世紀以来の差別社会(=白丁)を詳細に取り上げているところである。職業・結婚・居住など、あらゆる面から、5万~40万人ともいわれる人々が強い賤視を受け、1894年の甲午改革によって一時無くなったかのように見られたが、差別はその後も厳存した。1923(大正12)年には解放組織(朝鮮)衡平社が結成される。全篇を通して日朝近代史研究に及ぼす内容は深いものといえるが、本章もまた、朝鮮の歴史を学ぶ上で不可欠な部分であり、純粋に学術的・資料的な見地から、特に原本の通りに複製した。

榎木末實 著(大正2年10月)

31 朝鮮の迷信と俗傳

ISBN 978-4-8447-6516-5

200頁

本体価4,500円

迷信というものを通して朝鮮人の人情・風俗を知ることが目的としている。取り上げた18項目は、すべて朝鮮人の倫理観・宗教信念・社会思想全般に関わるものばかりで、その国民性、古代からの民族の交通移動の考証に役立つものである。付録として、10篇の迷信物語が綴られている。

朝鮮総督府 編(大正8年7月)

32 朝鮮の謎

ISBN 978-4-8447-6517-2

230頁

本体価5,000円

朝鮮民俗資料第一編として朝鮮総督府学務局より刊行された非売品。本書でいう謎とは、天文・歳時・地理・鳥獸・玉石・疾病・被服・食物・住居・精神現象・鬼神など多岐に及ぶことから、各題について釈文・答・註解を付し、諺文(ことわざ)を加えている。第2部として破字(字謎)を部首順に示す。

朝鮮総督府 編(大正12年3月)

朝鮮部落調査予察報告 (第1冊)

朝鮮総督府 編(大正13年3月)

33 朝鮮部落調査報告 (第1冊)

朝鮮総督府 編(大正13年3月)

朝鮮部落調査特別報告 (第1冊)

ISBN 978-4-8447-6518-9

総400頁+カラー折込計18点

本体価18,000円

大正9~10年に小田切道敏によって行われた、部落調査の予察報告書。咸鏡北道を除く16の地域を対象とし、調査の威儀、経過・計画、概相、各道の特質を記す。また、部落図・住家平面図と、住家の内部写真も記録されている。

大正12年に小田切道敏によって行われた、朝鮮火田民および来住中国人の生活に関する調査報告書。

朝鮮総督府が大正11年に生活学者・今和次郎に依頼して朝鮮の民家を調査したレポートである。著者は実証的研究と学問創造の姿勢において夙に有名。内容は、構造・間取り・内地人と交渉を持てる民家などと、図版41点を収める。

朝鮮総督府 編(昭和4年3月)

34 朝鮮の市場経済

ISBN 978-4-8447-6519-6

570頁

本体価12,000円

善生永助によって、朝鮮に於ける市場経済の変遷・現状を簡明に叙述したもの。多くの原資料を駆使し、経済史的また人文地理学的考察にも富み、さらに日本内地・中国との比較にも眼を配る。通常の生活市はもとより、薬令市、現物市場(穀物市、証券)をも調査している。

田保橋 潔 著(昭和18年)

35 朝鮮統治史論稿

ISBN 978-4-8447-6520-2

220頁

本体価5,000円

日韓関係史の中でも特に、近代政治史の研究において著名な著者による「朝鮮は日本の植民地」にあらずとの立場から講演されたもので、大著「近代日韓関係史の研究」(昭和15年)を補完する貴重資料である。中でも、初代総督寺内の施策には詳しく、以降30余年の全貌を見渡す。

第5期 (36~42)

全7巻・総9冊

揃本体価 88,000円

(03・6刊)

朝鮮総督府 編(大正15年10月)

朝鮮の契

36

稲葉君山 著(大正12年9月)

朝鮮の姓の由来

ISBN 978-4-8447-5458-9

総280頁

本体価6,000円

朝鮮の伝統的な経済的相互扶助組織・組合的な性質を持つケイを、その歴史、分布、現状、取締にわたって論じたもの。研究員善生永助により綿密にして浩瀚なる資料にまで仕上げている。

朝鮮民族社会の根底に根ざす「族譜」に視点を射る。「族譜」は家族主義の近代的結晶を象徴したもので、その理解なしに半島文化は語れないといわれる。著者は「カスト制度と印度文化」との密接な関係と対比しつつ、世襲階級の象徴であるその「姓」を歴史的・多面的に検討する。

朝鮮及朝鮮人社 編(昭和2年10月)

37 最近間島事情 附・露支移住鮮人發達史

ISBN 978-4-8447-5459-6
530頁

本体価15,000円

本書は間島(中国吉林省の朝鮮に接する豆満江の流域)の地理・経済上の事情を詳説したものである。1875年からの農民の定住、1910年以降の植民地化の象徴に見られるように、政治経済上の要所といえるこの地の歴史・外交・産業・交通などを網羅する。従来南満洲鉄道沿線をとかく重視して書かれてきた傾向があるが、人口食糧問題から考えても、この地方の持つ役割は大きい。「満洲」経営研究の上からも重要な一次資料といえよう。

朝鮮総督府 編(大正13年10月)

38 地方行政区域名稱一覽

ISBN 978-4-8447-5460-2
572頁

本体価12,000円

「総督政治」のまっ只中で刊行されたもので、大正13(1924)年6月現在の朝鮮総督府・府・郡・島・町洞里的名称をすべて収めている。洞里は農村の集落を1~数個あわせた形のもので、日本の「町」ともいえる。

総督府は農民所有のいっさいの土地を国有化し、それを〈東拓〉に管理させたが「韓国民のために開発」との謳い文句が崩壊する過程も、本書の網羅する地名全容を見るに、歴史の必然を感じさせるものである。

村山智順 調査(大正14年)

39 朝鮮の群衆

杉村 濬 著(昭和7年1月)

明治廿七八年 在韓苦心録

ISBN 978-4-8447-5469-5
総460頁

本体価8,000円

ナショナリズムともいうべき朝鮮人集団現象を社会主義運動と絡めて、労働事情・市井の生活にも鑑み考察する。(大正14年現在)

在韓外交官による東学党の乱(甲午農民戦争)の詳録。朴泳孝問題、明治29年の広島地裁結審までを記録文献に基づき論じた主に政府側の見解。

大阪商業会議所 編(明治37年12月)

40 韓国産業視察報告書

ISBN 978-4-8447-5462-6
210頁

本体価4,000円

日露戦争開戦の同年に韓国に派遣され、京釜鉄道の完成、産業の実情等を調査し、報告したもので、朝鮮内陸部と日本との経済関係にも触れられ、写真も含めて活写されている。大阪商業会議所の内部報告で、交通・商業・貨幣・農業・労働・教育・旅行など多岐に亘って記述されている。比較的安定した時期と思われる韓国内部の生活が読み取れる。

朝鮮総督府 編(昭和6年2月)

41 朝鮮の風水 全2冊

ISBN 978-4-8447-5470-1
880頁

本体価16,000円

地中に存在する「地力」は朝鮮半島に住む人々にとって生活の安定と繁栄のために不可欠の風水信仰のもとである。多くの写真・挿画と共に民間信仰としての墓地風水、住民風水を説いた随一の書である。

越智唯七 著(大正6年5月)

42 新舊
対照 **朝鮮全道府郡面里洞
名稱一覽** 全2冊

ISBN 978-4-8447-5464-0
1.150頁

本体価27,000円

大正6年4月現在の編纂で特色とするとこ
ろは、高麗時代からの郡県制の根幹をなす旧
郡面里洞と新たな道・郡・面・里洞を併記し、詳
説している点(新旧対照)。また各地方事務所
の所在地を明記してあることで、多便に供せ
られる。(目次)は朝鮮全道沿革、京畿道沿革、
忠清北道沿革、忠清南道沿革、全羅北道沿革、
全羅南道沿革、慶尚北・南道沿革、朝鮮全道二
関スル沿革、ほか。

第6期 (43~60)

全18巻・総21冊

揃本体価 167,000円
(06・1刊)

小松 緑 著(大正9年9月)

43 **朝鮮併合之裏面**

ISBN 978-4-8447-5490-9
334頁

本体価6,000円

「日記の総合と見るべく備忘録の抜萃」の形
をとり、現場に居合わせた官僚小松の見た併
合10年目の日本政府を肯定した歴史観とい
えよう。付録「桑権一家説」。

韓国駐劄憲兵司令部 編(明治44年)

44 **日韓併合始末(正・続篇)**

ISBN 978-4-8447-5491-6
192頁+特大折込9点

本体価10,000円
(第2刷)

韓国併合をアジア大陸に「確乎タル地步ヲ
進メ」るに必要との立場から書かれているが、
特徴とするところは、軍人は外交問題には不
干渉との考えから、この事態を「如何なる状
況のもとに、如何なる行動をとったか」を事
実のみ書き上げたとする点である。軍隊ノ集
中・7月ニ於ケル併合準備・8月ニ於ケル準備・
軍隊ノ解散など。付表の統計データは貴重。

戸叶薫雄、樽崎観一 共著(大正元年8月)

45 **朝鮮最近史
附・韓国併合誌**

ISBN 978-4-8447-5492-3
330頁

本体価6,000円

明治38年の「保護協約」以降5年間に重点
をおき、文物制度の変遷から最近史の研究に
まで及ぶ。日韓関係の沿革・保護協約の締結・
初期統監政治・丁未の政変・併合条約の成立な
ど14章より成る。

小田幹治郎 著(昭和6年3月)

46 **小田幹治郎遺稿
〈私家版〉**

ISBN 978-4-8447-5493-0
270頁

本体価6,000円

法務官、総督府事務官小田の在任中を回顧
するもので、古蹟・旧慣調査、特に海印寺大藏
経の整理、辞典編纂など朝鮮の学芸全般に精
通した著述となっている。

長田忠一 著(明治37年 3月)

露西亞 朝鮮 支那 遠征奇談
新々赤毛布

47

佐田白茅 輯(明治 8年 3月)

朝鮮聞見録(上・下)

ISBN 978-4-8447-5494-7
 総366頁 本体価6,500円

明治・大正期の劇作家・仏文学者としても名高い著者による寓話集と云ってよいもの。「国賊李華昌」「韓語中の外国語」「朝鮮人の呑気さ加減」「在韓西洋人の朝鮮化」「宮崎滔天仙人と為る」「孫逸仙の日本語」「朝鮮の日本左衛門」など問題作131篇。

外務省出仕の編者による朝鮮出向中の見聞記。特に巻初の「交際」=外交の項の対韓談話は興味深い。
 [内容]冠・婚・喪・祭・雑誌・朝鮮略図・武備・刑罰・官制など。

柵瀬軍之佐、久保田呆僊 共著(明治27年 8月)

見聞
 隨記 **朝鮮時事**

48

金 横根 著(大正15年 2月)

朝鮮賭博要覧
 〈私家版〉

ISBN 978-4-8447-5495-4
 総260頁+図 本体価6,000円

明治26年の防蔽令事件、日清戦争などの取材過程での時事見聞録であり、久保田米麿の挿画とともに時事的資料価値の高いものである。

朝鮮国内での日常生活の中で賭博との関わり方、その民族学的考察、さらに日本での朝鮮人と賭博などを取締上の見地からまとめた。鮮文から訳述したもの。

大江 卓 著(明治32年 6月)

極秘 京釜鉄道意見

49

服部 徹 著(明治27年 7月)

日韓交通史
 -上世史・中世史・近世史-

ISBN 978-4-8447-5496-1
 総286頁+特大折込 4点 本体価8,000円

東洋の平和を掲げ、即ち日本に同化させるための根本として鉄道=京釜鉄道会社の設立を目指す。そのための具体的提言として「極秘」文獻の形で韓国政府との交渉内容などを詳細に書き留めたもの。

古来よりの日韓交通の歴史を大きく3編に分け、上世史は神代から斉明天皇まで、中世史は、天智天皇より弘和2年北朝後円融天皇まで、近世史は、小松天皇より明治天皇期までを著す。参考文献としたものの中には「竹島書類」「外交忘稿」などきわめて今日的なテーマの史料も見られる。

水路部 編(昭和 8年 1月、同 9年 8月)

50 **朝鮮沿岸水路誌(1・2卷)**
 全 2冊

ISBN 978-4-8447-5497-8
 900頁 本体価20,000円

朝鮮沿岸に関するわが国最初の水路誌として明治19年に刊行されたものから朝鮮全岸にわたる記事を分離して明治27年に刊行されたものが最初である。風、波、燈光の方位、潮流など、人間・文物の移動に不可欠のデータを集め、航路記とし、朝鮮東岸・南岸・西岸を解説する。

韓国銀行 編(明治43年11月)

51 韓国貨幣整理報告書

ISBN 978-4-8447-5498-5
330頁+特大折込5点

本体価8,000円

1909年に中央銀行として設立された韓国銀行が1911年に朝鮮銀行として継承された際に、最大の業務であった貨幣整理事務の概要を詳細に報告したもの。開国以来の幣制・旧白銅貨の整理・銀行券・日本通貨・還取旧貨の処分など10章よりなる。

藤戸計太 著(昭和5年3月)

52 質屋及典當舖之研究

ISBN 978-4-8447-5499-2
230頁

本体価4,500円

過渡期朝鮮における庶民金融機関の新旧制度および経営方法を解明し、不備なる面を抽出し、生活上の安全を図ることを目的とし書かれた。業界の沿革・経営・副業・法規等全般に及ぶ。
[典當舖=チョヌタンヌボ]

第八師団軍病部 編(大正4年4月)

53 朝鮮人ノ衣食住及其ノ他ノ衛生

ISBN 978-4-8447-5500-5
440頁

本体価8,000円

本書は、所謂ガリ版形式にて出された報告書で、明治44年現在の朝鮮半島における衛生事情の概要である。20余名の軍医をして調査にあたらせたデータを基にしており、内容の正確さに重点を置く。「衣」「食」「住」に分けて記録し、可能な限り、細かく項目を立てて書かれている。

朝鮮総督府 編(昭和3年3月)

朝鮮の犯罪と環境

善生永助 著(昭和15年4月)

54 朝鮮の姓氏と同族部落

岡本湖月 編/揚洲周延 画(明治15年8月)

絵本朝鮮異聞 全3編

ISBN 978-4-8447-5501-2
総402頁

本体価12,000円

善生永助により書かれ、昭和初年現在の朝鮮における犯罪現象を社会環境を背景に統計学・地理学的に考究したもの。朝鮮の文化、経済を解く上でも一級の文献である。

朝鮮の民族・生活史に通じた著者による労作で、支那の姓氏、姓の起源、姓の種類、族譜などから成る。古代日本の帰化による姓の由来に始まり、韓国、「併合」、「内鮮一体化」までの経過をいわゆる「恨の国」史観などもとり入れて平易に論じている。今日テーマとなっている「創氏改名」を考える上でも重要な文献である。

明治15年の「壬午事変」に端を発する事件を詳細なる彩色図画・地図等により、公使花房らが英測量船で帰着するまでの様子を描く。

朝鮮総督府 編(昭和2年3月)

55

朝鮮の服装

朝鮮総督府 編(昭和8年3月)

朝鮮の習俗

ISBN 978-4-8447-5502-9

総269頁

本体価6,000円

朝鮮人の生活実相を理解する資料として、彼等の通常の服装についてその形式、色形、装飾及びこれ等に伴う行動居座、その他朝鮮服装の衣料と価値変換等を調査したもの。

風俗習慣は民族性の一反映であるとの観点から、朝鮮を知ろうとする日本人向けに朝鮮人の習俗を社会全般に亘って解説紹介。主に京城中心に取材している。

岡 良助 著(大正4年6月)

56 京城繁昌記

ISBN 978-4-8447-5503-6

650頁

本体価12,000円

地理に始まり、歴史、名所旧蹟、教育、宗教、財政など生活に係る殆どすべてを調査描写した。さらに「人物伝」では、40余名の事蹟を紹介するなど旺盛なる生活誌たる大著。

中田孝之介 編著(明治38年6月)

57 在韓人士名鑑

ISBN 978-4-8447-5504-3

324頁

本体価6,000円

韓国在住の「商工家成功」の人物の事歴と日本本国の対韓貿易・各方面の朝鮮関係者を紹介した唯一の人名録である。開市開港、内地雑居、貿易概況にも筆は及び、当時の朝鮮最新事情を知る手がかりとなる。

朝鮮総督府 編(大正4年3月)

58 国境地方視察復命書

ISBN 978-4-8447-5505-0

272頁

本体価5,000円

鴨緑、図門の二ヶ所を国境として調査し、地勢、気候、地方自治の状況、宗教、教育衛生、産業等万般に及び詳述する。また、移住民の実況も見聞を入れて細かく書かれている。

幣原 坦 著(大正8年2月)

59 朝鮮教育論

ISBN 978-4-8447-5506-7

428頁

本体価7,000円

植民地教育を志した著者による朝鮮教育史の成果。朝鮮「合邦」を是とする歴史観に基づき総督府の依頼により全道を歩き、朝鮮の教育界の現状、展望、朝鮮内の日本人の教育状況、満洲の教育との比較など興味は尽きない。

統監官房 編(明治41年12月)

韓国施政年報(明治39・40年)

統監府 編(明治43年4月)

60

第二次韓国施政年報(明治41年)

朝鮮総督府 編(明治44年3月)

第三次施政年報(明治42年) 全3冊

ISBN 978-4-8447-5507-4

総1,020頁

本体価30,000円

本年報は、明治38年の統監府開庁より明治42年中ばまでの間、統監府・同所属官署に於て施行し、及韓国政府の各機関をして施行せしめたる政務の大綱を第1次より第3次にわたる約3年間について記述したもの。

附録は明治40年より43年迄に発表された重要條約、協約、勅令並に統監府、韓国政府の發布した重要法令等を掲げている。

第7期 (61~72)

全12巻・総13冊

揃本価 138,000円

(*08・1刊)

統監府 編(明治39年11月)

61 韓国ニ関スル條約及法令

ISBN 978-4-8447-0006-7

570頁+折込地図14点

本体価12,000円

韓国併合に向けての政治的プロセスを跡付ける条約関係資料。

第1編 政治上ニ関スル條約、第2編 通商航海ニ関スル條約、第3編 漁業ニ関スル條約、第4編 居留地ニ関スル條約、第5編 内地旅行ニ関スル條約、第6編 漂流船及難破船救助費用償還ニ関スル條約、第7編 犯罪人引渡ニ関する條約に亘り、関係する條約、議定書、規則、章程、書翰、取極書、宣言、約定等を編集整理する。地図多数、和・英併記。

統監府 編(明治40年2月)

統監府施政一斑

62

統監府総務部内事課 編(明治39年7月)

韓国事情要覽

ISBN 978-4-8447-0007-4

総290頁

本体価7,000円

統監府の開設以来條約及法令の定める所に従い経営・施行した政務の大綱を略述したもの。官庁予算・顧問制度、行政、警察、財政金融、鉱業、土地制度、鉄道事業、通信事業、地方制度、裁判制度、移民保護、教育、土木事業、大韓医院設立、勸業模範場、棉花栽培、林業、農林学校設立、園芸模範場、養蠶伝習所等多岐に亘っている。

韓国に於ける日本帝国の経営及び在留日本人の發展、その他韓国の經濟事情等々略述、地図付。

度支部 編

63

韓国財務経過報告

(第1回・隆熙二年上半期)
(第2回・隆熙二年下半期)

全2冊

ISBN 978-4-8447-0008-1
総1,254頁

本体価38,000円

第3次日韓協約に基づき、日韓人共同の下に組織された新官制發布の下、各行政機関の活動が開始された。その第1年次の財政報告書である。財政刷新の第一着手は歳計の整理、租税制度の一部改善、新移属の駅屯賭取租事務の実行、金融機関に対する施設、貨幣整理の進捗、紅蔘専売の準備、財源涵養事務の伸暢、会計検査の励行、関税事務の刷新、港湾設備の進展等広汎に亘る。一方地方騷擾により徴税機関の業務が妨げられ、予期した成績未達成云々とも記されている。

統監府地方部 編(明治42年5月)

64

居留民団事情要覧

朝鮮総督府 編(明治44年3月)

朝鮮貿易年表(明治43年)

ISBN 978-4-8447-0009-8
総380頁

本体価7,000円

明治41年4月1日現在の在韓日本居留民団の状況(財政を除く)を主として理事庁の調査報告に依り、各地域の概況の外、戸口調査、教育状況、土木事業、衛生設備(病院)、警備状況、救恤調査、財政状況等をまとめる。

明治43年度の貿易総量を集計した統計。輸移出入状況を価格別、金銀地金、港別、国別、収税額等に分類整理している。

釋尾春仍 編(明治44年10月)

65

朝鮮古書目録

ISBN 978-4-8447-0010-4
286頁

本体価8,000円

クラーンの朝鮮書籍解題、文献、備考、海東釋史等の文芸考等を主とし、総督府李王家の図書目録その他の目録を参照し作成した約三千点に及ぶ書籍目録。經籍儒家、歴史地理、制度典章、諸子百家、文章詩歌の五部に分ける。末尾に各国人の朝鮮に関する著書を付す。朝鮮古書研究の必備文献。

バード・ビショップ 著／工藤重雄 訳
(大正14年7月)

66

三十年前の朝鮮

ISBN 978-4-8447-0011-1
326頁

本体価6,000円

英国王立地学協会々員バード・ビショップ女史のコレア・エンド・ハー・ネーボアスの抄訳で、「外人の見たる朝鮮」の第1巻。折しも全羅道で東学党蜂起、動乱の時代が始まった頃か？

鶴谷誠隆 著(明治41年6月)

朝鮮の宗教

67

京城府公立普通学校教員会 編
(大正15年8月)

京城五百年

ISBN 978-4-8447-0012-8
総320頁+地図折込等

本体価8,000円

著者は、浄土宗開教使として活動した人物。約1500年以前に遡り、以後の朝鮮宗教の展開の歴史を時代背景、人物史を含めて綴る、彼地の独特の宗教・信仰観を社会状況に言及しつつコンパクトにまとめている。

京城並びに附近の名所旧跡を郷土誌の形で編纂。京城の歴史はつまる所李朝史のことである。朝鮮史に造詣深い総督府嘱託加藤灌覚氏の「李朝実録」を始めとする諸文献に基づく講演録を基にさらに実地踏査してまとめた資料。

申来鉉 著(昭和18年9月)

68 朝鮮の神話と傳説

ISBN 978-4-8447-0013-5
320頁

本体価8,000円

朝鮮の古文献にある神話、民間に伝わる伝説を民間伝説と建国神話に分けて計20篇、可能な限り生のままの物語をそのまま読者の前に抛り出し、歴史的な考證や批判的な考察を試みなかったとある。

今村 鞆 著(昭和3年8月)

69 歴史民俗朝鮮漫談

ISBN 978-4-8447-0014-2
510頁

本体価12,000円

朝鮮民俗の歴史を伝説・昔話・風俗等実に中広くいていねいに調べ上げ、しかも平易に読み易くまとめる。自ら一价の俗史の古手の素人芸と謙遜しているが、その知識、研究の奥深さが窺える好著。

朝鮮総督府 編(昭和4年7月)

70 朝鮮の鬼神

ISBN 978-4-8447-0015-9
534頁

本体価9,000円

朝鮮文化を理解するにはまず朝鮮人の思想を理解するべきで、そのための第一歩は民間信仰を研究することの考えに基づいた研究書。第一部として鬼神信仰を取扱う。

第一編で鬼神の観念を明らかにし、第二編で鬼神の及ぼす影響を免れようとする攘鬼法を列挙している。

朝鮮総督府 編(昭和7年3月)

71 朝鮮の巫覡

ISBN 978-4-8447-0016-6
770頁

本体価15,000円

悠久の昔より朝鮮文化の根幹を為し来り、現在もお朝鮮大衆の精神生活を支配している巫覡の信仰の概要を述べる。

朝鮮総督府 編(昭和16年3月)

72 朝鮮の郷土娯楽

ISBN 978-4-8447-0017-3
418頁

本体価8,000円

昭和11年、朝鮮総督府により全鮮各地に亘って現行の郷土的娯楽を府郡島管下の小学校に依頼蒐集した調査記録。歌謡では朝鮮語のまま蒐録されている。

第8期 (73~84)

全12巻・総16冊

揃本体価 139,000円
(10・1 刊)

度支部 編

73に続く第3回(隆熙三年上半期)報告書。

73 韓国財務経過報告
(第3回・隆熙三年上半期)
全2冊

ISBN 978-4-8447-0189-7

660頁 + 折込9点

本体価20,000円

度支部 編

76に続く第4回(隆熙三年下半期)報告書。

74 韓国財務経過報告
(第4回・隆熙三年下半期)
全2冊

ISBN 978-4-8447-0190-3

694頁 + 折込14点

本体価20,000円

度支部 編

77に続く第5回(明治43年上半期)報告書。

75 韓国財務経過報告
(第5回・明治43年上半期)
全2冊

ISBN 978-4-8447-0191-0

826頁 + 折込13点

本体価24,000円

北川左人 著(昭和7年12月)

76 朝鮮固有色彩辞典
全2冊

ISBN 978-4-8447-0192-7

628頁

本体価15,000円

朝鮮における凡ゆる固有色彩一特徴を風俗・習慣を含め広汎な語彙二千数百点を選び、その解説を付した。語彙は日本語・朝鮮語・支那語の3種類を掲げ、稀に英・佛・独語も用いた稀観書。参考にした書籍、新聞、雑誌は幾千が膨大な数の由。

朝鮮総督府 編(大正2年11月)

77 朝鮮ニ関スル東亜経済調査局報告

ISBN 978-4-8447-0193-4

422頁

本体価9,000円

ウィードフェルド博士が東亜各地を実地踏査し編述した「東洋経済観」のうち朝鮮半島に関するものを訳写したもの。

小川雄三 編(明治36年7月)

78 仁川繁昌記
附・仁川官民人名録

ISBN 978-4-8447-0194-1
338頁

本体価6,000円

仁川開港二十年記念出版とある。韓国仁川港の今昔、20年の昔よりその繁栄を綴る案内記。貿易、海陸運、行政、教育、宗教、社会、雑の外懐旧談等に分けて述べる。附録として仁川官民人名録を加える。

青柳綱太郎 編(明治45年1月)

79 朝鮮野談集

ISBN 978-4-8447-0195-8
402頁

本体価9,000円

朝鮮半島の民衆を同化するためには社会の裏面、国民性を先ず知るべしとの前提で民衆に伝わる野談・俗伝、百余篇を蒐集編纂したもの。娯楽的読本ながらその中に自ら風俗、習慣を伝え赤裸々な民衆の姿を写し出し、さらに日鮮比較文学上の資料ともなるとしている。

林驛作 著(明治38年?)

80 韓国蚕業調査復命書

朝鮮総督府 編(大正15年3月)

火田の現状

ISBN 978-4-8447-0196-5
総336頁+写真44点

本体価7,000円

韓国の蚕業の現況を調査し、その養蚕・製糸の技術水準の低さを指摘し、その改善策を述べる。

火田とは山野を焼き払い、穀物、馬鈴薯、大豆等を栽培する粗放的農耕法の朝鮮特有の名称であるが、朝鮮における林政、治水、農政、経済社会上重要な問題として調査編纂したもの。

稲葉岩吉 著(大正?)

朝鮮社会史ノ断面(上・下)

齋木寛直 編(明治38年6月)

韓国写真帖

81

福澤泰江 著(明治39年4月)

韓国實業管見

外交文書彙纂件別類輯(明治27年)

金玉均謀殺ノ顛末

ISBN 978-4-8447-0197-2
総314頁

本体価10,000円

朝鮮半島の社会的特性を社会組織、階級制度、家族制度等さまざまな角度から分析。その後進性を論じる。

日露戦争が終結し、朝鮮における日本の覇権が確立した直後の日韓関係、日韓・日露の交渉史、韓国の紹介等を写真入りで伝える。月刊雑誌の臨時増刊号。

長野県の囑託として韓国を約40日間旅行し、調査した韓国の実視報告書。産業、生活状態、社会組織、政治・農業組織、土地利用の状況、交通、通貨と金融、経済慣習、邦人の地位、企業、教育その他全般にわたっている。

金玉均被害ノ顛末、在上海大越總領事代理ヨリ具報等、6点の外交文書彙纂を収録する。

今村 鞆 著(昭和5年11月)

船の朝鮮

82

臨時財源調査局 編(隆熙3年12月)

韓國沿岸航路開始顛末

ISBN 978-4-8447-0198-9

総270頁

本体価6,000円

法制面より見た朝鮮船舶史である。著者は旧朝鮮の海運不振が社会の発展を阻害し、反面近代海事政策の発展が今日社会の文化、経済の繁栄を可能にしたことを主眼にまとめた極めて示唆に富む史料。

韓国の経営は先ず交通機関の発達こそ急務との認識の下、日本政府は航海業を奨励し、且つ同時に厳重監督の要を認め関係方面の参考にした報告書。

幣原 坦 著(明治38年12月)

83 日露間之韓国

ISBN 978-4-8447-0199-6

224頁

本体価6,000円

優れた実務官僚であり、且つ学者であった著者が、日露開戦前より、開戦そして終結、露韓条約廃棄迄、日露両国にはさまれ苦悩する韓国国内の激動の推移を当時の韓国諸新聞記事、帝国陸海軍諸報告等より史料として重要なものを保存する意図のもとに綴った。

松田行蔵 編(明治24年4月)

84 慶尚道全羅道旅行記事並ニ農商況調査録

ISBN 978-4-8447-0200-9

382頁

本体価7,000円

標題の通り実地に山川の模様、村落の位置体裁等を記している通商顧客の道案内書であり、内地村落の様子、商況の繁閑の状況を知る情報誌であるとしている。

第9期 (85~100)

全16巻・総17冊

揃本体価 126,000円

('11・2刊)

朝鮮総督府 編(大正5年9月)

朝鮮半島史編成ノ要旨及順序
朝鮮人名彙考編纂ノ要旨及順序

85

朝鮮史編修会要覧

朝鮮総督府朝鮮史編修会 編(昭和5年7月)

朝鮮総督府朝鮮史編修会 編(昭和13年6月)

朝鮮史編修会事業概要

ISBN 978-4-8447-0235-1

総228頁

本体価5,000円

混沌とした旧態を色濃く残す朝鮮半島人を教化し、日本帝国臣民として辱じない地位に導く一助とするために編纂された本書には、数多ある「韓国通史」に惑わされることなく朝鮮統治の同化を図るための主眼点が示されている。

朝鮮の文化は非常に古く、且つ優れたものも多い。にもかかわらず、学術の見地から資料を蒐集編纂した史書は見るべきもの少く、しかも、古記録、古文書等は逐年湮滅しつつあるのは甚だ遺憾であるとの観点に立ち、総督府の訓令第64号を以て朝鮮史編修委員会規定の公布を見、本事業は開始された、とある。

朝鮮の文化は極めて遠く深い、しかも数千年にわたる文化変遷を辿る史書の少なさを遺憾とし、日韓併合後朝鮮総督府は訓令第64号を以て朝鮮史編纂委員会を組織し、さらに勅令第218号によりこれを官制と為し、10ヶ年をかけて朝鮮史を完成する予定を立てた。新羅統一以前より朝鮮時代後期を六編に大別、編年体で編纂、昭和12年全35冊、2万4千頁の朝鮮史を完成させたこの大事業の経過と概要をまとめる。

小田省吾、魚允迪 共著(大正13年3月)

朝鮮文廟及陸廡儒賢 附・朝鮮儒学年表、朝鮮儒学淵源譜

小田省吾 著(昭和9年9月)

86 辛未洪景来乱の研究

李王職 編(昭和13年5月)

徳 壽 宮 史

ISBN 978-4-8447-0236-8

総590頁

本体価8,000円

皇太子殿下結婚の慶事を記念し、これを機に朝鮮文廟の由来と現状並びに先哲從亨の事実を明かし、朝鮮儒学の発達及び学統の淵源を世上に周知させようとした。朝鮮史学会長・小田省吾著述、朝鮮総督府中枢院参議・魚允迪編纂、十八儒賢の詩文と合わせて完成した。

1811年発生の洪景来の乱は李朝23代純祖11年辛未の変乱で、東学党の乱と共に李朝末期の二大民乱である。官軍側の記事は各種あるが賊軍側資料は一切ない。しかし叛賊の巨魁とされる洪景来は西北人の不遇を憤慨して起ったとして何となく朝鮮人間に同情を有する人物である。

ここに疑問を持ち、調査研究してまとめた、とある。巻末に小田の略年譜を掲載。

徳壽宮は李王家に属する旧宮殿中の重要なものの一つであるが、本宮の由緒は複雑多岐に涉り誤伝も多い。これを正し、本宮と李王家との特別な関係を明らかにする。

瀬野馬熊 著(昭和11年10月)

87 瀬野馬熊遺稿

ISBN 978-4-8447-0237-5

520頁

本体価10,000円

朝鮮史研究の黎明期に於ける開拓者とも云うべき卓越した史学者・瀬野馬熊氏の朝鮮史関係論文で、史学雑誌・東洋学報・青丘学叢・朝鮮史学等に掲載された代表的な11篇を選択収載する。

尹璿均 著(昭和8年3月)

88 尹文学士遺稿

ISBN 978-4-8447-0238-2

230頁

本体価5,000円

朝鮮の歴史、社会を支配した思想的原理、「仏教」と「朱子学」、特に後者は現代朝鮮の社会に深く影響感化を止めているとし、朱子学の朝鮮への伝来・普及、そして影響についても考察している名著である。著者は京城帝国大学法文学部史学科で朝鮮史学を専攻した。

内閣不動産法調査会 編(明治40年)

韓國土地所有權ノ沿革ヲ論ス

法典調査局 編(明治41年)

不動産法調査報告要録

89

度支部 編(隆熙3年2月)

土地調査綱要

朝鮮総督府 編(明治44年2月)

臨時財産整理局事務要綱

ISBN 978-4-8447-0239-9

総486頁

本体価9,000円

韓国の土地制度につき大古の箕氏時代から三国時代、高麗朝時代、李朝時代と時代順にその概要を述べる。人民に土地所有権を与えて保護する観念がなく、国庫収入の増加一途の法制定の歴史だった韓国社会。蓄財観念の欠乏と惰民遊惰の徒の増加に驚き、近き将来の改革を期待して、財産権の完全な保護の重要性を指摘する。

不動産に関する法制・慣習について韓国内閣直属で梅謙次郎によって組織された不動産法調査会において、1906(光武9)年から1907(光武10)年にかけてほぼ韓国全土を網羅する調査が実施された。元となった調査資料は各地方ごとの分冊となり膨大な分量であるため、そのダイジェスト版を編纂し、閲覧の便を図ることとした。

土地調査の目的を土地制度の確立と租税制度の確立にありとして、韓国の混沌と乱雑を極めた現状の土地制度を改革する調査の基本指針を示す。総説、所有権の処分、課税的調査、土地測量、業務の実施と監督、業務の整理、所有権・税額の告示と図簿の授受、に亘って詳述する。

従来より韓国宮中、府中の混乱と財政の紊乱とは相互に因果関係を持って永く政治を腐敗させており、その解決容易ならざるものが在った。

しかし明治37年の日韓協約以来財政顧問の就職統監の指導により宮府の別も明らかになり、財政整理も改善した。さらに諸不動産の国有化、或は帝室財産、及宮府内での徴取諸税の整理と関係所官庁への引継、若しくは正当なる所有者への還付等、二年余の歳月をかけて宮中財政整理を為し遂げた、その要綱と経過をまとめたもの。

和田一郎 著(大正10年1月)

朝鮮の匂ひ

ISBN 978-4-8447-0240-5

450頁

本体価9,000円

著者が雑誌『金融と経済』の毎号に寄稿した漫筆「忙中問題」より選び、夫人の喪を悲しむ慰安として更に数篇を加え刊行。内鮮融和の一助を願う、とある。和田一郎は土地調査事業の事務方の責任者を務めていた。

西村眞太郎 著(大正12年6月)

朝鮮の倂

91

今村 鞆 著(昭和15年7月)

螺炎随筆 鼻を撫りて

ISBN 978-4-8447-0241-2

総512頁

本体価10,000円

朝鮮半島の治安維持に当る警察官に対し、朝鮮の民情をまず洞察し、不適切な執行をしてはならないと説く。アメリカ大陸征服に失敗したスペインと、広大な領土を持たたオランダの成功を例示。著者は長らく朝鮮総督府の通訳官を務めていた。

在野の朝鮮学者、今村鞆の古稀を記念し、新聞雑誌等に寄稿したものから選んだもの。

朝鮮に関する関心は広く深く、古今東西に亘り、気取らず、学者らしからぬ学者の正義感と不屈の精神とそしてユーモアに満ちた味わい深い読み物である。

度支部建築所 刊/谷井濟一、栗山俊一、関野 貞 述
(明治42年)

韓 紅 葉

度支部建築所 編(明治43年 8月)

朝鮮芸術之研究

92

朝鮮総督府 編(明治44年 7月)

朝鮮芸術之研究 続編

朝鮮総督府 編(大正3年 9月)

朝鮮古蹟調査略報告

ISBN 978-4-8447-0242-9

総462頁

本体価8,000円

韓国度支部の依頼で、韓国古代の建造物及び東洋芸術の史学研究に従事した工学・文学関係の3氏が、各専門の立場から行った講演抜粋。上世の日韓関係、平壤・開城の古墳、韓国芸術の変遷について述べる。挿図72点。

在韓旧蹟遺物につき研究されないまま、それ等を破壊して新建築が為され、尊重すべき文化財史料の滅却されることを憂い、古建築物の調査を東京帝国大学工科大学助教授・関野貞ほか2名の計三氏に委嘱したとある。三氏等が明治42年9月より12月にかけて半島全域を調査した報告書。『韓紅葉』の続編である。

上記資料の続編

古蹟調査嘱託の関野貞、谷井濟一、栗山俊一の三氏の共同調査報告書である。

廣州での百濟古墳・高句麗の遺蹟・楽浪帶方古墳等、重要な遺物を発見。写真多数。

朝鮮総督府中枢院 編(昭和13年 2月)

朝鮮舊慣制度調査事業概要

93

朝鮮総督府中枢院 編(昭和5年 3月)

小作ニ關スル慣習調査書

ISBN 978-4-8447-0242-9

総462頁

本体価5,000円

朝鮮に於ける旧慣制度調査事業の概要を記す。調査内容には触れていないが、明治39年不動産調査会設置以来昭和12年に至る32年間の諸調査の他、朝鮮半島史、人名辞書、地誌の編纂古文書の研究等、関連事業も記す。

朝鮮に於ける民事慣習中の物権、債権の一部につき、主として私法上の法律慣習を重点的に調査。小作慣習の大体は之により明らかになるとしている。

朝鮮総督府中枢院 編(昭和8年12月)

94 民事慣習回答彙集 全2冊

ISBN 978-4-8447-0244-3

946頁

本体価17,000円

隆熙三年(明治42年)～昭和8年9月の間、旧韓国法典調査局、朝鮮総督府取調局、同参事官室ないし中枢院が相次いで裁判所その他の官庁の照会に対し発した民事慣習に関する回答の悉皆収録。概ね年月順に回答の要旨を適記し、又事項別に彙類し、私法法典の編集別に対応させ巻初に列記する。

以上の外、朝鮮総督府旧慣及制度調査委員会の決議を以て、親族及相続に関する慣習の大綱を記述したものがあり、これを巻末に添載。

此經春也 著(明治44年9月)

朝鮮偉勳録

95

朝鮮総督府 編(明治45年4月)

朝鮮芸文志

ISBN 978-4-8447-0245-0

総298頁

本体価6,000円

日韓併合を血なまぐさい戦争、闘争を経ずしてし遂げた点、類いまれなる事件なりとし、貢献した人士の業績をほめたたえる。主として日本側観点で評価する。

佛人モーリス・クーラン氏の著「ピブリオグラフィ、コレエンヌ」は古代より朝鮮半島に於ける1890年迄の著述・翻刻2824点の目録解題の外、追加・附録等を加え通計3821点の目録解題集である。

当時朝鮮に関する著述の稀有なる中において、此の国の地理・歴史・風俗・文学・哲学に関して詳しく説明をしようとした、とある。これを総督府有志の読書会における講演原稿として、クーラン氏の書籍目録の叙論をまとめたもの。

満洲日日新聞社 編(明治43年5月)

96 安重根事件公判速記録

ISBN 978-4-8447-0246-7

210頁

本体価4,000円

伊藤公爵は明治42年10月26日大連にて、ロシア儀仗兵一個中隊を閲兵中に狙撃され不帰の人となった。正犯者安重根の他3名は公判に附され、明治43年2月7日より4日間旅順地方法院で公判の結果彼は死刑確定、3月26日執行された。

本書はこの公判速記録をまとめたもの。裁判官、検察官、弁護士の校閲済みとある。

大邱府 編(大正4年5月)

97 大邱民団史

ISBN 978-4-8447-0247-4

338頁

本体価7,000円

明治39年11月、邦人の大邱居留民団が結成される。以来大正4年3月に廃止される迄の歴史とその全貌を、民間邦人が始めて大邱に移住した明治26年9月に遡って綴る。

当初の韓国外部、又觀察府の邦人駆逐策による苦闘、日清・日露戦争による国際関係の変転による改善と大邱の発展史を、広汎に具体的に記録として残す。

八田己之助 著(昭和9年10月)

98 樂浪と傳説の平壤

ISBN 978-4-8447-0248-1

490頁

本体価9,000円

二千年の昔、朝鮮樂浪郡に高度に栄えた文化の存在が判明した。考古学の権威は口を揃えて地下の正倉院と呼ぶ。数千の古墳群、十数町の土壁に包まれた樂浪郡治址、それは大同江面の石岩里で畑作業中の一農夫が発見した青銅製金具—漢鏡に端を発する。

以後多くの遺跡発掘のドラマが展開され、それを物語り風の読物として、いにしえに想いをさせつつ読者に語りかける。

前田 力 編(大正15年11月)

99 鎮南浦府史

ISBN 978-4-8447-0249-8

530頁

本体価9,000円

明治30年10月1日開港の一漁村鎮南浦は、30年の年月を経て今日、海陸輸送の連絡網も整い、居住者も数万人と云われる西鮮唯一の大貿易港へと発展した。

その発展史を時代、国際関係、産業社会等のさまざまな角度から鳥瞰する。

高尾新右衛門 著(大正11年4月)

100 大陸發展策より見たる元山港

ISBN 978-4-8447-0298-6
250頁

本体価5,000円

軍拡競争より経済的な活動と競争に移ってきた大正後期、資源乏しく、人口過剰の日本が今後目指すべきは経済的大陸發展策也。我国は企業的精神を發揮し、大陸の富源を開発し、国際的善隣友好、共存共栄を計るべしと説く。そして、まず重要なは日本海の活用であり、そのためには半島元山港を研究すること肝要なりとし、その歴史、地勢、産業經濟、宗教等をトータルに幅広く紹介する。

第10期 (101~114)

全14卷

揃本体価 113,000円
(14・5刊)

度支部 編(隆熙2年3月)

韓南島嶼ノ富源

全羅南道 編(大正元年10月)

101 明治十四年全羅南道道勢要覽

春陽堂 刊(明治27年9月)

日清韓新三國志

釜山日本人商業會議所主催により、韓国各島嶼の資源調査を行ったとある。内容は、田畑・戸数・職業・生産品・生産高等。

明治44年における全羅南道の道勢全般を自然、社会、産業、商業、交通、通信、財政、物価、教育、宗教等の分野に分けて調査。

日清韓三國の要人の奇言、異行を一見普通に述べつつも、その裏の意味を吟味されたしとある。

ISBN 978-4-8447-0175-0
総378頁 + 折込4

本体価8,000円

京城日報社 編(大正元年9月)

朝鮮百業百種

102

西尾守行 著(明治44年1月)

朝鮮常平通寶錢譜

朝鮮での庶民の日々の暮らしぶりをぎっくばらんに新聞記者が思いつくままに語る。京城をはじめ朝鮮各地での生活臭あふれる語りぶりは、移民を志望する若者にはかなり興味深い情報源だったかも知れない。

朝鮮で古来鑄造された貨幣の廃貨作業部署に在籍の著者が収集した3,137点もの硬貨の錢譜。未発見物のおお多くあるを予想し、その鑄造所、年代、種類を記録したとし、これに係る詳しい情報の提供も呼びかける。

ISBN 978-4-8447-0176-7
総362頁

本体価9,000円

統監府警務総監部 調(明治43年9月・同年10月)

朝鮮在来教派概観

103

朝鮮佛教団 編(昭和5年8月)

朝鮮佛教大会記要

国民協会本部 編(昭和6年10月)

国民協会運動史

ISBN 978-4-8447-0177-4

総342頁+写真8頁

本体価9,000円

朝鮮に於ける教ある結社団体中、かなりしつかりした教義を持ち、勢力もある下記7団体を取り上げ、その概要(沿革、政治関係、布教状況、組織、信教の形式、教の維持方法等)を紹介する。(天道教、太極教、孔子教会、大同教、大成宗教、大倧教、大宗教)

長く不振状態にあった朝鮮に佛教普及をうながすべく、内鮮佛教徒の交流を深め、半島文化の発展と民衆の福祉増進に貢献する目的をもって京城にて初めて開催された大会の紀要。

大正8年発生 of 朝鮮独立騒擾事件は朝鮮全土に拡大した。いわゆる三・一運動で、これに対し陸軍省、朝鮮総督府による軍事弾圧と政治犯処罰の強化が実行されたが、その時局下、日・支・露の列強の影響下、自立力の弱い朝鮮民族を救うには、日韓併合をあえて受け入れ、その中で参政権を要求し、内鮮一体化によって日朝両民族の共存共栄の道をめざすとした「新日本主義」をかかげるも、凶漢に倒れた「閔元植」の政治理念と活動の記録を綴る。

学部編輯局 編(明治26年)

104 世界萬国年契

ISBN 978-4-8447-0178-1

288頁

本体価8,000円

神代～紀元前670年～紀元1898年間の朝鮮、漢土、日本、西洋の総合年表。アジア三国は柱に皇帝名、西洋は紀元年を表記。漢字文献。

善生永助 著(昭和9年7月)

朝鮮帰化族の発展

105

朝鮮総督府学務局 編(昭和2年12月)

朝鮮青年成功録

ISBN 978-4-8447-0179-8

総344頁+写真2頁

本体価9,000円

古来、我国に在住する朝鮮帰化人を歴史的に概説し、全国的な分布図、帰化人集落、帰化人賜姓の由来、その系統・分布を調査。近代に入つての移住者についての叙述は一切触れていない。

各道より調査報告された青少年男女の学校卒業後直ちに実業に身を投じ成功した三百余名中、特に優れたと認められた115名の経歴を紹介。

群馬県下尋常高等小学校長他5名(大正15年11月)

満鮮北支視察記

106

埼玉県教育会 編(大正15年8月)

満鮮支視察記録

ISBN 978-4-8447-0180-4

総316頁

本体価9,000円

満鉄主催の全国小学校長会議(奉天)を機会に、視察団に加わり、40日余の満洲・北支の視察旅行を行った5名の校長の報告。

第4回満洲・朝鮮・支那視察旅行14名の視察報告書。埼玉県下小中学校の校長・教師ら中心の14名が約1ヶ月の視察旅行を実施。県下の普通教育の資料作成を旨とした。

[埼玉教育No. 226に掲載(昭和2年3月15日)]。日支両国の友好関係が損なわれ、排日の風潮全支にみなぎる時局を憂い、原因の一斑は日本人にもあるとし、この記録を県下教育指針の一端に願うとある。

三浦兼助 著(大正6年11月)

107

明治 朝鮮 紀行

癸卯 一三浦在六遺稿

ISBN 978-4-8447-0181-1

176頁

本体価4,000円

佛書専門の其中堂古書店主の25日間の朝鮮旅行記。古書収集家にして才人。軍人、官吏、文人、僧侶、医者、新聞記者、商工業者など幅広い交友関係を持つ著者が己が不治の病末期なるを悟り、知人らに本旅行記こそ面白く楽しく読んでもらいたいと書き残している。(原本和綴)

朝鮮総督府 編(昭和5年5月、昭和8年12月)

108

朝鮮道立醫院概況

ISBN 978-4-8447-0182-8

188頁+写真68頁+折込6

本体価8,000円

明治40年京城に設置された大韓医院(京城帝科大学の前身)により、中央救療機関はスタートした。それにつづき、地方に近代医療を展開すべく統監府は韓国政府を動かし、ここに地方慈恵医院が展開された。その沿革・現況を2度にわたり調査した報告書。

(社)朝鮮鉱業会 編

鉱業状況

109

京畿道 (昭和5年10月)

忠清南道 (昭和5年12月)

忠清北道 (昭和5年12月)

咸鏡南道 (昭和5年10月)

咸鏡北道 (昭和5年10月)

ISBN 978-4-8447-0183-5

総268頁+折込10

本体価8,000円

各道における鉱業状況を地理、地質、鉱床、鉱業出願件数、稼働鉱区及鉱山状況、産額状況等を網羅的に調査。附表、稼働鉱山分布図付。

(社)朝鮮鉱業会 編

⑩に同じ。

110

鉱業状況

江原道 (昭和5年12月)

平安南道 (昭和5年10月)

平安北道 (昭和5年12月)

ISBN 978-4-8447-0184-2

総280頁+折込8

本体価8,000円

(社)朝鮮鉱業会 編

⑩に同じ。

111

鉱業状況

黄海道 (昭和5年10月)

全羅南道 (昭和5年12月)

全羅北道 (昭和5年12月)

慶尚南道 (昭和5年10月)

慶尚北道 (昭和5年10月)

ISBN 978-4-8447-0185-9

総278頁+折込10

本体価8,000円

植木秀幹 著(大正8年11月)

112

朝鮮の救荒植物

朝鮮総督府山林部 編(昭和4年)

火田整理ニ関スル参考書

食用可能の野生植物、特殊栽培植物387種につき、その産地・産額・食用部分・採取季節等を明かし、特に食用法、薬用その他を調査し紹介する。

火田民の存在を長期に亘る朝鮮の社会現象としてとらえ、その問題解決を計るべく道知事会、中枢院会・営林署長会からの答申の他、調査研究諸報告をまとめる。

ISBN 978-4-8447-0186-6

総316頁+折込2

本体価8,000円

全羅南道 編(昭和6年12月)

113

**全羅南道小作慣行調査書
(昭和5年調査)**

各区域内の事情精通者につき調査の上、郡・道にて再審議し作成。本府指示の「小作慣行調査要項」に依る。

ISBN 978-4-8447-0187-3

262頁+折込2

本体価9,000円

平安北道 編

全羅南道調査に準ず。

114 平安北道小作慣行調査書 (昭和6年7月調査)

ISBN 978-4-8447-0188-0

296頁

本体価8,000円

第11期 (115~122) 全8巻・総11冊

揃本体価 124,000円

(17・9 刊)

酒井與三吉 著(大正5年5月)

朝鮮民籍法令集

115

朝鮮総督府財務局 編(大正11年9月)

改正朝鮮税令

大正5年5月現行の民籍法・戸籍法を掲載。さらに各種心得、書式・手続に関する件についての詳細な説明、内地人用の戸籍諸届書式に合わせて、一部ハングル語を用いた訳文も収録されている。

「地税」「所得税」「釐税」「朝鮮銀行券発行税」「取引所税」「酒税」「煙草耕作税」「砂糖消費税」「印紙税」「登録税」「驛屯土」について、大正11年9月現行の各改正令を収録。

ISBN 978-4-8447-0466-9

総364頁

本体価9,000円

木村富士 著(昭和14年4月)

鮮満地方出張視察報告書

東京府教育研究会 編(昭和7年?)

鮮満地方視察報告

朝鮮および満洲に於ける製紙工業、満洲に於けるバルブ工業について、現地を視察した著者による報告書。

同年5月~6月にかけて行われた視察の結果得られた、「教育に関する事項」「満洲国に対する認識」「関東洲の状況」「朝鮮統治の概況」が綴られており、「朝鮮人・満洲人風習の一端」「朝鮮・満洲の建築・工芸・彫刻」についても触れられている。

台湾地方自治連盟本部 編(昭和9年3月)

116

朝鮮地方制度視察報告書

台湾の政治上の施設、とりわけ地方自治が朝鮮に比べて劣っていると捉えていた同本部が制度改革を要求すべく、朝鮮全般の実情を把握するために行った視察。朝鮮の現行自治制度や経済・教育状態、政治的関心などを調査している。

同光会本部 編(大正12年2月)

朝鮮民情視察報告

大正11年10月に行われた視察について、政友会代議士の上塚司、憲政会代議士の荒川五郎、無所属代議士の副島義一の3名による報告を掲載。さらに、上塚氏によって執られた視察中に接客した現地関係者との聴取録も採録している。

二見鏡三郎 著(明治43年12月)

清国及朝鮮視察報文

理工科大学教授であった著者が明治43年8月から行った視察について、京都帝国大学総長の菊池大麓に宛てた報告書。土木工事を中心とした視察を行っており、関係する図面も附されている。

ISBN 978-4-8447-0467-6

総384頁

本体価10,000円

廣韓書林編輯部 編(昭和5年4月)

家庭百万吉凶宝鑑

117

笠原次郎 著(明治37年9月)

清韓染織視察報告書

ISBN 978-4-8447-0468-3

総444頁

本体価11,000円

目次より…「第1編 秘訣」「第2編 択日」「第3編 陰陽」「第4編 婚姻」「第5編 祈祷」「第6編 修造」「第7編 交接」「第8編 畜産」「第9編 陰晴」「第10編 葬事」「第11編 命運」「第12編 断時」「第13編 ト字及雑方」「第14編 夢識」「第15編 療治」が、ハングル語で記されている。

染織業技師であった著者が、農商務省の官命により、清国の「綿織物およびその染物の種類・寸法・価格等」「綿織物および染物生産の状況および生産費」「輸入される諸外国産の綿織物および染物の種類・数量・価格・状況」「織物職工・染物職工等の賃金額および労働程」についての調査を厳命され、その結果をまとめたもの。11年9月現行の各改正令を取録。

山道襄一 著(明治43年8月)

社会状態及階級制度

向井 忠 著(大正3年6月)

平壤経済一斑

118

佐々木忠右衛門 著(大正13年1月)

朝鮮部落の一形態 副業の盛なる道也味里

(明治43年9月)

(全州) 産 業 之 栞

ISBN 978-4-8447-0469-0

総358頁

本体価10,000円

「朝鮮半島の社会組織は不完全であるのに対し、階級制度の嚴重さに疑問を感じることが多い」とした著者によってまとめられた調査書。詳細にこの問題を研究するにあたって諸問題の調査にあたり、最後にその結論をまとめている。

朝鮮銀行平壤支店の沿革から始まり、「総説」「商圈内の諸取引」「金融」「通貨」の記述が続く。単に経済情報を記しただけではなく、銀行の預金・貸出残高や金利、為替受払なども記録されている。

朝鮮部落の一つである道也味里の調査報告書。「沿革」「社会状態」「経済状態」「風俗習慣」「民家」「農業」「自然地境」についての報告と共に、「道林里矯風副業契約」も掲載されている。

全州を中心とした全羅北道の産業についてまとめられたもの。「位置・地形」「陸上交通」「通信」「水運」「気候衛生」「警備機関所在」「教育」「戸口」「物資集散の状況」「産業概況」「農業」「金融機関」等についての記述がある。

朝鮮総督府中樞院 編(昭和9年11月)

119 朝鮮の姓名氏族に関する研究調査

ISBN 978-4-8447-0470-6

514頁

本体価11,000円

今村鞆の編纂によってまとめられた調査書。姓名氏族の概要から、時にはその由来・沿革等についても触れており、著者による私見も含まれている。

朝鮮博覧会京城協賛会 編(昭和5年2月)

120 朝鮮博覧会京城協賛会報告書

ISBN 978-4-8447-0471-3

360頁

本体価8,000円

昭和4年9月に開催された朝鮮博覧会の全容を記載。発起人の氏名から予算編成、開会中の事業、閉会後の残務内容や寄付者氏名などが、詳細に記されている。

統監府臨時間島派出所残務整理所 編(明治43年3月)

121 間 嶋 産 業 調 査 書
全 2 冊

ISBN 978-4-8447-0472-0

940頁

本体価26,000円

明治42年9月の日清協約締結によって突如閉鎖となった統監府臨時間島派出所が、その残務整理中に編纂した調査書。清国官憲からの圧迫があるなかで、「農業」「地質及鉱産」「商業」について当時の職員が調査を行っている。

朝鮮総督府看守教習所 編(大正12年3月)

122 朝 鮮 刑 務 堤 要
全 3 冊

ISBN 978-4-8447-0475-1

1,260頁

本体価39,000円

法令等の前文は省略されているが、大正12年3月1日現行の「法令」「訓達」「通牒」等を収録したもの。「憲法」「法例」「官規」「位勲、褒章、救恤、恩給、賞罰」「文書、統計、指紋」「会計」「官有財産」「監獄」「裁判失効、刑期計算」の全9編からなる。

朝鮮史研究会論文集第9集

朝鮮思想史の課題

ISBN 978-4-8447-0397-6

A5判・156頁

本体価1,500円

獨立新聞・獨立協會・萬民共同會／李朝末期の思想的課題／三峯・鄭道伝の改革思想／「朝鮮」教育と朝鮮史研究 (72・3 刊)

朝鮮史研究会論文集第10集

朝鮮民族運動と歴史的條件

ISBN 978-4-8447-0398-3

A5判・156頁

本体価1,500円

所謂「寺内総督暗殺未遂事件」について／日本帝国主義と間島問題／「日韓体制」下の「財閥」形成／許宗浩他「朝鮮におけるブルジョア革命運動」について／「朝鮮の学者を囲む學術懇談会」について (73・3 刊)

監修 旗田 巍／朝鮮史研究会 編(朝鮮史研究会誌第11集を収録)

古代朝鮮と日本

ISBN 978-4-8447-0399-0

A5判・370頁

本体価2,600円

広開土王陵碑文の諸問題／考古学からみた古代日朝関係／高句麗広開土王陵碑文の研究／新羅・法興王代の律令と衣冠制／加羅諸国の史的発展について／朝鮮三国の軍区組織／六世紀前期の日朝関係／六世紀日本の朝鮮侵略と軍事動員体制／古代における日本の税制と新羅の税制／日本近代史の展開と「朝鮮史像」／高句麗広開土王陵碑文研究と紀年論争／古代朝・日関係史問題雑感／座談会「広開土王陵碑と古代東アジア」 (73・3 刊)

朝鮮史研究会論文集第14集

朝鮮民族運動の諸段階

ISBN 978-4-8447-0400-3

A5判・190頁

本体価2,000円

朝鮮考古学の現段階／初期義兵運動について／揮春事件と間島出兵／新幹会運動に関する若干の問題／韓国の商人資本について (77・3 刊)

朝鮮史研究会論文集第15集

朝鮮史認識の展開

ISBN 978-4-8447-0401-0

A5判・184頁

本体価2,200円

百濟三書と日本書紀／朝鮮における渤海観の変遷／愛国啓蒙運動期の時代認識／朝鮮史研究をかえりみて／季朝末期における米穀輸出の展開と防穀令 (78・3 刊)

朝鮮史研究会論文集第17集

20周年記念大会特集号

ISBN 978-4-8447-0402-7

A5判・200頁

本体価2,500円

新安出土の中国陶磁／日本における朝鮮史研究の軌跡と課題／シンポジウム1 朝鮮の国家形成と東アジア／朝鮮三国の国家形成／考古学資料よりみた朝鮮の国家形成／中国における国家形成／日本古代の政治形態の変遷／シンポジウム2 3・1運動の歴史的意義／現代歴史学における3・1運動／3・1運動と54運動／3・1運動と日本／朴珪寿 (80・3 刊)

朝鮮史研究会論文集第18集

李朝史の諸問題

ISBN 978-4-8447-0403-4

A5判・214頁

本体価2,700円

15世紀朝鮮の土官制／李朝後期の郷所について／李朝後期における朝鮮農法の発展／楽浪前漢墓／高句麗の金石文／農村振興運動下の中堅人物の養成／青山公亮先生略年譜 著作目録／「金玉均伝原稿」と雑誌「古均」／故青木功一氏論著目録／文献目録（1979～80）（81・3 刊）

朝鮮史研究会（編集代表 旗田 巍）編

朝鮮の歴史をどう教えるか

ISBN 978-4-8447-0404-1

四六判・256頁

本体価1,300円

学校教育の現場で、朝鮮史教育の重要性の指摘にもかかわらず、適当な教材がない、という声に応えて編集された指導書。実践報告、簡明な通史、年表、地図、参考文献を付す。

（76・10 初版）
（84・11 3版）
残僅少

梶村秀樹 著

朝鮮における資本主義の形成と展開

ISBN 978-4-8447-0356-3

A5判・275頁

本体価3,000円

朝鮮における資本主義の内在的な形成と展開を、体系的に把握し、それが今日南朝鮮において直面している問題状況に歴史的パースペクティブを与えることを目的とする経済史的論文集。各段階ごとに特定の産業部門を選んで、そこでの朝鮮ブルジョアジーの軌跡を具体的に詳述する。

（77・1 初版）
（85・1 2版）

金 顕杓 述／木村益夫、南里知樹 編

ある抗日運動家の軌跡 — “不逞鮮人” の証言 —

ISBN 978-4-8447-0394-5

B6判・256頁

本体価1,200円

朝鮮近代経済史という困難な分野に研究の鉤を入れ、学界に新鮮な問題を提起し、若い研究者を指導してきた金氏は若くして逝く。本書は遺稿をまとめた氏の研究成果である。

（78・3 刊）

金 錫淡、崔 潤奎 共著／梶村秀樹、むくげの会 訳

朝鮮近代社会経済史

ISBN 978-4-8447-9312-0

A5判・336頁

本体価4,500円

日帝統治期の朝鮮経済の状態を理解するのに、朝鮮経済の植民地的偏頗性と後進性、農村経済の社会経済的特徴を説明することは、重要な意義をもつ。本書はこの分野で、従来から分散的、また断片的に出版されてきた統計資料を整理し、体系的に列挙・分析しようと努めた。

（78・6 初版）
（89・1 2版）

梶井 陟 著

朝鮮語を考える

ISBN 978-4-8447-0393-8

四六判・240頁

本体価2,200円

本書は、1976年から1979年まで季刊『三千里』に連載された論文を中心にまとめ、「朝鮮語を考える」ことから、日韓関係史、また日本人の朝鮮観・朝鮮語観を考えようとするものである。

（80・1 初版）
（84・10 2版）

姜 在彦 著

朝鮮と日本との歴史的接点を考える最新評論集。
(80・6 刊)

日朝関係の虚構と実像

ISBN 978-4-8447-0396-9
四六判・296頁

本体価1,800円

監修 旗田 巍／朝鮮史研究会 編

新 朝 鮮 史 入 門

ISBN 978-4-8447-0392-1
四六判・476頁

本体価4,500円

各時代・各分野の第一人者が既存の朝鮮史研究の成果を整理し、現今の研究動向を加味し、今後の方向をさし示したもので、専門の研究者のみならず、これから朝鮮史を学ばんとする人々にも最適な手引書。
(81・6 刊)

陸軍参謀本部 編／解題 村上彦彦

復刻版

朝 鮮 地 誌 略
全2巻第1巻 京畿道／忠清道／咸鏡道 (81・10 刊)
ISBN 978-4-8447-8457-9
A5判・710頁 本体価10,000円第2巻 平安道／江原道／全羅道 (85・8 刊)
ISBN 978-4-8447-8458-6
A5判・742頁 本体価10,000円明治21年、陸軍参謀本部は、朝鮮全土の疆域、沿革、人口、教育、自然、物産等22項目の調査を行ない、「朝鮮地誌略」全8巻(和綴じ)という龐大な調査報告書を完成させた。これは将来予想される日清・日露開戦における戦略及び兵站の用に作成されたものであり、朝鮮支配の実用的、歴史的裏付けとして調査されたものと思われる。本書は同時期に刊行された兵要地誌のなかでもっともすぐれたもので、「慶尚道之部」(学芸書林既刊)及び「黃海道」(未発見)をのぞき全巻刊行。
残僅少

古筠記念会、林 毅陸 編

復刻版

金 玉 均 傳 (上巻)

ISBN 978-4-8447-0405-8
A5判・510頁

本体価8,500円

本書は、朝鮮独立運動の英傑として、つとに有名な金玉均(キム・オッシェン、1851—94)の詳細にして唯一の伝記である。内容は金玉均の家系、年少時代に始まって、江華島事件、開国条約、仁川開港事件、日本遊歴、壬午事変、福沢諭吉とのかわり、公使竹添進一郎との政約など、非常に多岐にわたっている。とくに1884年の所謂甲申の変には多くの説明を費し、開化派を中心とする新政府をつくるまでの過程を克明に綴っている。
(86・10 刊)

エドワード・W. ワグナー 著(1904~1950)

復刻版

日本における朝鮮少数民族

ISBN 978-4-8447-0004-3
A5判・158頁

本体価3,000円

1904年から1950年にかけて、日本に移住した朝鮮人に関する資料をあつめ、解説。年代順に移住のあとをたどり、ついでそれによって起こった問題と発展の経緯とさらに性格を追求する。在朝鮮米軍政庁および連合国軍総司令部による在日朝鮮人処理についてまとめられた最初のレポート。
(89・3 初版)
(09・5 3版)残僅少

櫻井義之 著／解題 村上勝彦

復刻版

明治と朝鮮

ISBN 978-4-8447-6398-7
A5判・300頁

本体価12,000円

1928年、新設の京城帝国大学助手以後、1945年引き揚げまでの18年間、一貫して「明治期朝鮮研究のあり様」の研究に没頭した著者の論説・書誌研究・随筆を収める。朝鮮文献研究者の必読書。
(95・11 刊)

善生永助 編著／解題 桜井義之

復刻版

朝鮮の聚落

全3篇・総5巻

ISBN 978-4-8447-3434-5
A5判・総2,664頁

本体価120,000円

本資料は、朝鮮総督府の調査事業の一環として行われ、昭和4年調査着手以来7年の歳月を要して、まとめられた。

朝鮮における生活状態の実態を調査しながら聚落の形成過程の総括的調査を試みようとしたのが本書である。全3篇の「前篇」において聚落の発生、分布、種類、規模等にわたる調査を記述し、「中篇」は部落調査とし、特色ある部落、6部落を選び、個別的に調査し、「後篇」において、朝鮮における家庭制度の根幹をなす、最も特色のある同族部落の本質、構造、発展の様相等の調査をしている。

とくに「同族部落」に最も多くの記述をさいており、朝鮮の社会組織、家族制度の構造とその歴史的形

(79・4 初版)
(96・10 2版)